

衆議院財務金融委員会ニュース

H24.6.15 第180回国会第16号

6月15日(金) 第16回の委員会が開かれました。

1 金融に関する件

- ・松下国務大臣(金融担当)、中塚内閣府副大臣、五十嵐財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

緒方 林太郎君(民主)

- ・欧州諸国の銀行の財務の透明性が十分確保されているかどうか松下金融担当大臣に伺いたい。また、当該透明性の向上について、我が国も働きかけていくべきだと思うがいかがか。
- ・TPPに関連して我が国特有の共済に対してイコールフットディングが確保されていないという諸外国の主張に対する松下金融担当大臣の見解を伺いたい。また、金融庁が共済を一元的に監督するべきだと思うがいかがか。
- ・政府が日本郵政グループの株式を保有していることを理由として、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命に対してもイコールフットディングが確保されていないとする主張に対する松下金融担当大臣の見解を伺いたい。

佐々木 憲 昭君(共産)

- ・社会保障と税の一体改革関連法案をめぐる民主、自民、公明3党の修正協議は密室談合であり問題だと思うが、松下金融担当大臣の見解を伺いたい。また3党協議に対して国民新党はどのような対応をしているのか。
- ・社会保障と税の一体改革関連法案の修正協議に抗議する共産、きづな、社民、みんな、大地及び新党日本の6党合意文(6月14日)に対する松下金融担当大臣の感想を伺いたい。
- ・国民新党はマニフェスト2009で消費税について国民にどう約束したのか確認するとともに、どのような経緯で消費税に対する姿勢が変わったのか松下金融担当大臣に伺いたい。

竹内 謙君(公明)

- ・欧州の財政・金融問題の本質及び世界経済に与える影響について松下金融担当大臣の見解を伺いたい。また、我が国

経済に与える影響はどのようなものか。

- ・「中小企業金融円滑化法の最終延長を踏まえた中小企業の経営支援のための政策パッケージ」の具体的内容について伺いたい。また、中小企業金融円滑化法の出口戦略に向けた決意を伺いたい。
- ・相次ぐ増資インサイダー事件の概要及び再発防止策について伺いたい。

竹本 直一君(自民)

- ・消費税増税がうまくいかなかった場合、我が国の信用リスクが発生するという見方に対する松下金融担当大臣の認識を伺いたい。
- ・中小企業金融円滑化法の最終延長という方針に変更はないか。また、中小企業向け融資の拡大について、銀行に対し数値目標を設定して強く要請したり、政府系金融機関の融資実態についてよく調査する必要があるのではないか。
- ・金融庁として、ヤミ金融の実態調査を早急にやるべきではないか。また、超党派で改正貸金業法の見直しの議論が行われ、自民党も改正案をまとめている。これらを参考に、金融庁としても見直しを検討するべきではないか。
- ・増資インサイダーを抑止するため、情報伝達者に刑罰規定がなく、課徴金の水準も低いといった現行の規制の見直しを検討するべきではないか。

豊田 潤多郎君(きづな)

- ・A I J問題について、当委員会における証人喚問後の状況及び金融庁の対応、信託銀行の役割に関する改善策並びに金融庁としての再発防止策の検討状況を説明していただきたい。
- ・我が国のデフレ・円高の解決策及び消費税増税に対する松下金融担当大臣の見解を伺いたい。